



広報

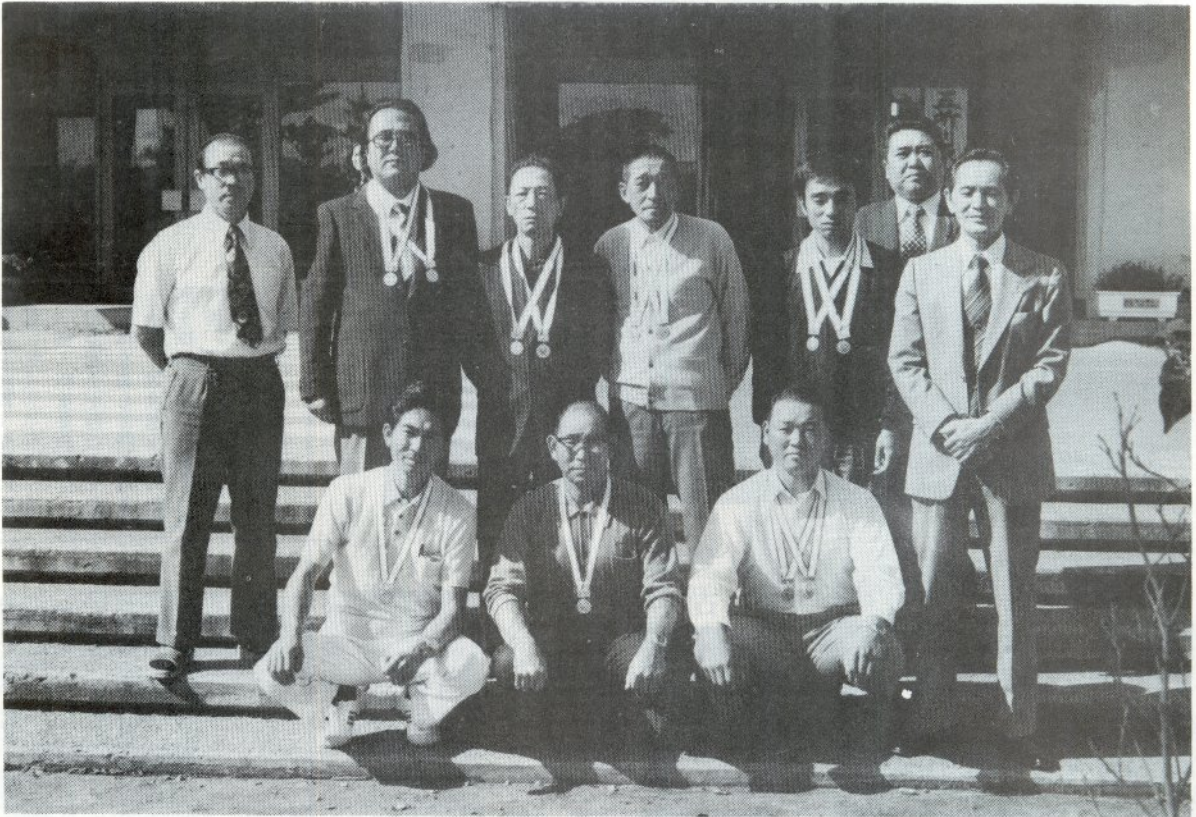
ごよみかわら

発行所
五所川原市役所
386号
昭和51年10月15日
印刷 日刊民友新聞社

市の人口 男 25,143人
52,044人 女 26,901人

世帯数 13,888

(昭和51年9月1日現在) 住民基本台帳から



12個のメダル

県身障者スポーツ大会がこのほど県総合運動場で行なわれ、市から参加した選手があわせて12個の金、銀、銅メダルを獲得。(結果は4頁に)

午後、市民総合体育館の現場では、地下3mの地点から直経60cm、長さ5m位の流木と見られる埋もれ木が発見されたので教育委員会に調査願うよう指示。つづいて、平和町東側通り線、栄町裏通り線、高源小路、蒔田小路、弥生町通り、唐笠柳線、未広線、漆川一号线、飯詰中学校通り線、同曙町線、中村く前や

川、行政連絡員兼田兼五郎氏ご母堂はる様、羽野木沢阿部七和支所長ご尊父金太郎様方に、それぞれおみやみを申し上げてから、市役所玄関で待機していた八木橋建設課長、平山係長等とともに上半期の事業実績の報告と今後の対策を指示するため現場に急行。田川種井線の田川小学校前からの延長二二九mの舗装をはじめとして、高瀬二号线、桜田一号线、中崎線舗装予定箇所毘沙門小学校前通り線、中野新田線、山長通り線の視察をしていたら、稲刈りから帰った中元武三郎氏とばったり会う。

柳町、元山羊組合組合長小笠原明様、藤川、行政連絡員兼田兼五郎氏ご母堂はる様、羽野木沢阿部七和支所長ご尊父金太郎様方に、それぞれおみやみを申し上げてから、市役所玄関で待機していた八木橋建設課長、平山係長等とともに上半期の事業実績の報告と今後の対策を指示するため現場に急行。田川種井線の田川小学校前からの延長二二九mの舗装をはじめとして、高瀬二号线、桜田一号线、中崎線舗装予定箇所毘沙門小学校前通り線、中野新田線、山長通り線の視察をしていたら、稲刈りから帰った中元武三郎氏とばったり会う。

市長日記

十月六日
(水)晴。
八時三十分、町内の民生委員川村篤代氏ご令室みえ様柳町、元山羊組合組合長小笠原明様、藤川、行政連絡員兼田兼五郎氏ご母堂はる様、羽野木沢阿部七和支所長ご尊父金太郎様方に、それぞれおみやみを申し上げてから、市役所玄関で待機していた八木橋建設課長、平山係長等とともに上半期の事業実績の報告と今後の対策を指示するため現場に急行。田川種井線の田川小学校前からの延長二二九mの舗装をはじめとして、高瀬二号线、桜田一号线、中崎線舗装予定箇所毘沙門小学校前通り線、中野新田線、山長通り線の視察をしていたら、稲刈りから帰った中元武三郎氏とばったり会う。

市長日記 (Handwritten signature)

留守家庭 案山子 まばらに 青田刈

ち線舗装予定箇所、広田四号線、広田一号线舗装予定箇所、七ツ館五号線(同)、杉派立線、原子二号线舗装予定箇所、持子沢六号線(同)高野三号线(同)中泉三号线(同)梅泉小学校通り線(同)漆一号线等の視察をしたが、これらの舗装を終ると本年度の舗装総延長は約十三kmにおよび、市道舗装率も二七・四%となるがこれは四九年度舗装延長三・五km、五十年度の七kmに比べると大巾な進捗状況を示すことになり、人家連担地域の市道は数カ所を残してほとんど舗装を終ることになる。

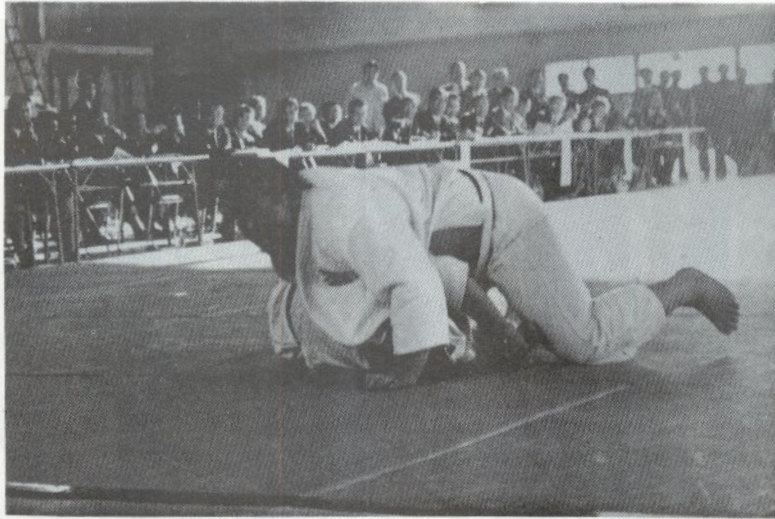
なお、国道三三九号線、新田町域内の歩道工事は本年一、七四〇万円の交通安全対策事業費と一八三万円の県単独事業費(一部市負担)計一、九二三万円で全長九二二mのうち、本年度分五〇九mの工事が施工中であって、特にグレーチングを工法でもって排水に工夫をこらしているのには十数年来の常習滞水解消の懸念事業だっただけに胸のつかえがおりたような感じである。

四時三十分、あすなろの家での記者との懇談会におくればせながら出席。

あすなる国体のリハーサル 五農、団体、重量級個人を制覇

第26回 東北高校柔道大会

個人戦、重量級決勝、角田選手(五農)難波選手(宮城)を横四方固めで破る

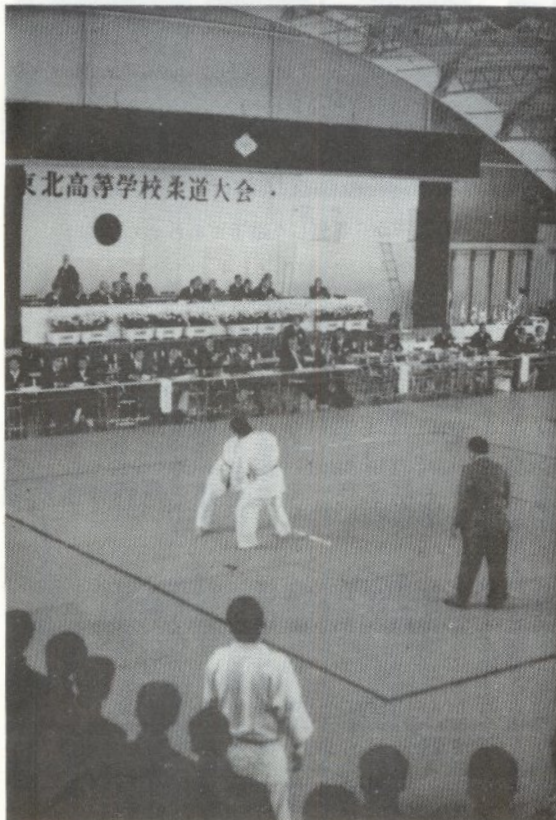


「あすなる国体」柔道競技のリハーサル大会「第二六回東北高等学校柔道大会」は、さる九月二十五、二十六の両日五農中体育館に東北六県から団体十八チーム、個人三十六人の選手が参加して行なわれ、地元五所川原農林高校が団体、個人重

量級を制覇、期待に応えました。個人戦重量級では、角田幸選手が百二十三の巨体を利して勝ち進み、決勝で難波選手(宮城)を横四方固めで押えて優勝、団体戦では一次、二次の予選リーグを勝ち抜いた地元五農と龍沢高(

岩手)との討戦となり、実力伯仲で両チーム引き分け、代表決定戦六回目で五農の佐藤順一選手が龍沢高の井上選手を優勢勝ちで下し、十四年ぶり二度目の優勝を果たしたものです。

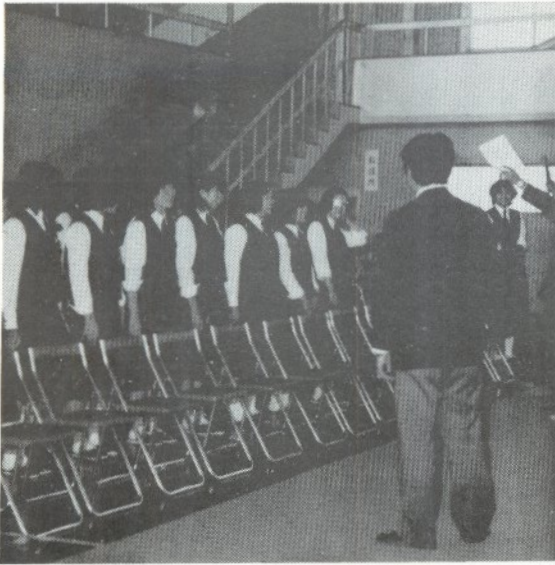
スムーズに行なわれた大会運営



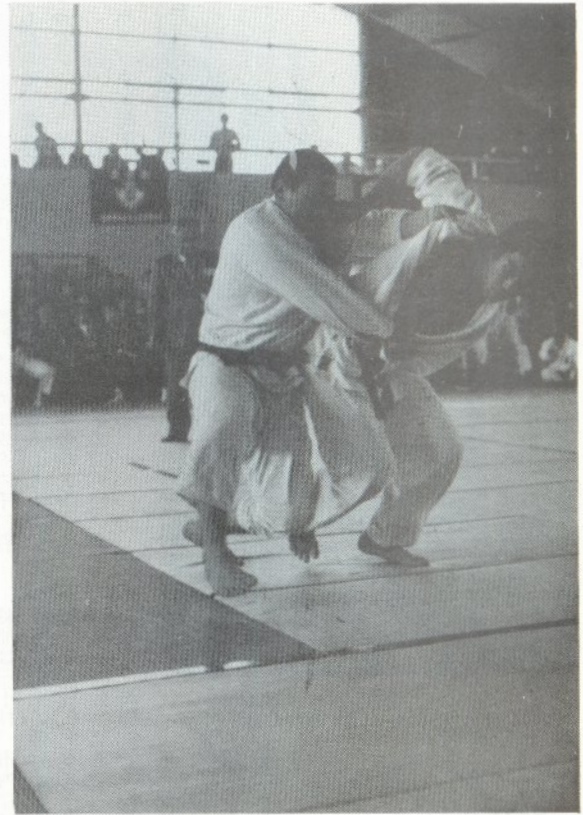
生活環境
パトロール本部
住みよい
環境づくりに
でんわ
(5) 1414



五農高川浪選手の力強い選手宣誓



ブライカード係、五商女生徒のリハーサル



団体戦決勝、最終代表戦、佐藤選手(五農右)が井上選手(龍沢高)に優勢勝ち



大会前日、選手役員団が次々到着



出番を待つ選手席

団体優勝で賞状を受ける

市政ダイヤル

市政についての
行事や予定は



⑤ 4321



「市冷害対策本部」を設置

優良種モミの更新など

異状低温による農作物の被害に対処する「市冷害対策本部」（佐々木市長本部長）の設置会議は、さる九月二十二日午前、産経会館に関係者二十人が出席して開かれ発足しました。

冷害による市内の稲の生育状況は、九月十七日現在山間地の前田野目、福岡、

長富でとくに劣っていると報告されています。

対策本部の設置会議には、飯塚助役をはじめ北地方農林事務所、五所川原地区農業改良普及所、市農業共済組合、市内各農業協同組合など関係機関が出席しました。

対策本部は、これら関係

機関が本部委員となり、事務局を市農林課内に設け、今後は被害の実態のは握、自作農維持資金のワクの増大要請、地力増進のため、稲わら利用の堆肥作りの推進、優良種モミの更新、などの活動方針を決めました。

高層ビル火災に対処

四十メートルハシゴ車を配置

五所川原消防署（長内勝雄署長）にこのほど県内でも初めて、東北でも二台しかないという地上四十メートル級の六段バシゴの最新鋭消防ポンプ車が配置されました。

新鋭ポンプ車は、大阪の専門メーカーから六千二百四十万円で購入したもので、最長にした場合地上四十・九メートル（十三階まで）伸びます。

総重量二十トンの、救助専用のリフター設備（緩降機）もあり、ハシゴ起立の所要時間は三十秒。市内には、十五メートル以上の建物が十八棟あり、高層化するビル火災に備えたものです。

四十メートル級のハシゴ車は、



東北ではいわき市、郡山市に次いで三台目です。



百沢水害で観音像を建立

昨年八月六日未明、集中豪雨により一瞬にして住宅十七棟を流失、二十二人の犠牲者を出した中郡岩木町では、明五十二年の三回忌を期し犠牲者の追善供養のための観音像を建立することになり一般に協力を呼びかけています。

観音像建立協賛会（会長 鳴海弥一郎岩木町長）が音頭をとり、仏像、台座など含めて総額三千万円の募集を目標にしています。

市では、さる十月一日から一カ月間の予定で、本庁正面玄関、教育文化センターロビー、市中央公民館の三方所に募金箱を備えており、皆さんのご協力をお願いします。

水道相談室

水道料金は、使用水量で算定されるので、元来その月により差が生じていますが、相談も多いので本回はこのことについて述べます。

料金は、毎月定例日のメーター点検による算出がたてまえです。しかし冬期間は積雪のため点検ができず、また、事業経費の節減上から隔月点検地区も設定されています。該当の地区は、メーター点検の際、各使用者に配付している『水道使用量のお知らせ』の裏面に記載されています。

このお知らせで料金算定は誰でも計算できます。メーターにおいて、前月から今月まで進んだ分、いわゆる差引使用水量を基本水量と超過水量にかけて算出したの計にメーター使用料を加えたものが、その月の料金です。（基本水量をこえないときは、基本料金のみ）

また、メーター点検のない月は、前三カ月間の

水道料の変動

平均使用量を算出し、これを使用量と認定して料金を算出します。そしてメーター点検のあった月に過不足を精算する方法をとっています。この場合、結果として認定量がほぼ的を得るものであったか、否かによって精算月の料金に著しいバラつきが出ることにご留意ください。

なお、料金がとくに異常となったときは、見えない場所の水もれによる場合があります。

水もれがあるときは、職員がメーター点検の際お知らせしますが、使用者が直接、栓を完全に閉じて、メーターが動くか否かをみることで把握することができ、どうか早期発見をはかるようにしてください。

（水道課）



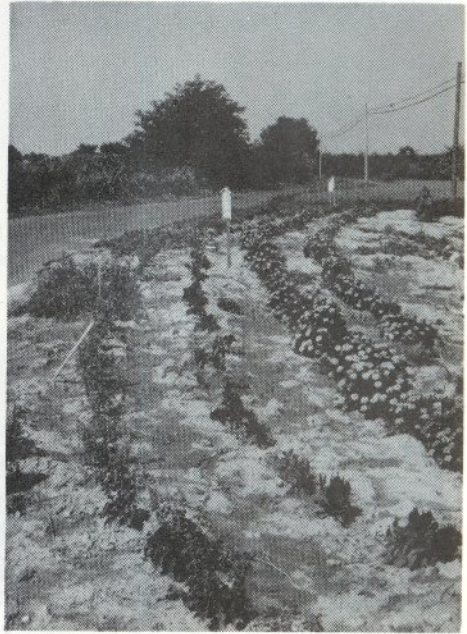
ゴミ捨場が 村の花壇に(中泉)

来年の「あすなる国体」を前に、市民の間にも街や村をきれいにする運動が盛んになってきました。中泉部落では村の入口を国体の花で飾り、村へ出入りする人々の目を楽しませています。

この場所は、部落民や行商などがゴミ捨場として利用していたところ、ハエやネズミの発生場所ともなり不衛生をきわめていました。ところが先きに行なわれた環境整備運動で

部落民の環境美化機運が盛り上がり、覆土後のゴミ捨て跡地に地元婦人会が中心となって色とりどりの国体の花約四百株を植えたものです。

秋の日差しを浴びて、サルビア、マリゴールド、葉鶏頭などがいつせいに咲き競うさまは、かつてのゴミ捨場とはとうてい思われなほどで、ちよつとした心づかいから、現在ではゴミの不法投棄もあとを断ち、部落民や関係者から喜びられています。



住民主体の活動を 市社会福祉大会で決議

第十九回、市社会福祉大会は、九月二十二日、市民文化会館におよそ二百人の関係者が出席して開かれ、住民主体の社会福祉活動を高めようなどの大会決議をしました。

大会では、物故者に対し黙とうしたあと、佐々木市長から社会福祉で活躍している二十四人に表彰状が、



市社会福祉大会の様子

婦人病の検診を実施

35歳以上の方

市では、婦人病検診を十一月二十五日から三日間次の日程で行ないますので、多数の受診者を望んでいます。

受診希望者は、次の事項に留意しお申し込み下さい。
▽受付期間は 十月二十五日から十一月五日まで。
旧市内の方は、本庁健康年金課へ、新市内の方は、各支所へそれぞれ住所、氏名、年齢、世帯主名を書い

てお申し込み下さい。
▽検診時間と場所
十一月二十五日、二十六日(受付は正後から午後一時、検診午後一時から三時まで)
十一月二十七日(受付午前八時から九時まで、検診午前九時から十一時まで)
場所は、いずれも市中央公民館。

▽対象者は 三十五歳以上で、市内に住んでいる方。
▽料金は ひとり千五百円のうち自己負担九百円です。

感謝状を受けた人たち
松江香山、中村千恵、木村考次郎、原幸三郎、高満タカ、藤田千代、浜館友市(敬称略)

中小退職金共済制度説明会

県、中小企業退職金共済事業団主催の、五十一年度「中小企業退職金共済制度加入促進説明会」は、十月二十八日(木)午後一時から市民文化会館で開かれます。

従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るため、中小企業事業者の出席を望んでいます。



五所川原の秋は十種類ばかりのタデ科植物で飾られます。イヌタデ、オオイヌタデ、シロバナサクラタデと、どれも野趣あふれるのですが、こ

野草と野鳥の散策

ミソソバ(タデ科)

ここでは「ミソソバ」を取りあげます。

和名「溝蕎麦」の通り水辺に群生し、うす紅色の花一面の様は、まさに圧巻です。野草の隠れた美しさが強烈に印象づけ

られる場面でもあります。津軽では、この草のことを「ペゴのツラコ」と呼んでいます。一枚の葉をじっくり見ていると、牛の額が思い浮んでくる草でもあります。

豚・山羊等が好んで食べる草でもあります。

おしらせ

市民サイクリングラリー

市民サイクリング協会(吉岡良二(会長)主催の「市民サイクリングラリー」は、十月二十四日(日)市庁舎(飯詰不動の滝間で)行ないます。

無料「調停相談」を行ないます

財団法人、日本調停協会連合会主催の無料「調停相談」は、十一月六日午前十時から市内柏原町丸キデバートで行なわれます。

当日は、現地ですた汁会を行ないますので、おにぎりを持参して下さい。おはようサイクリングの表彰(女です)。

30年ぶり兄と対面



飯詰出身の木村さん 中国から一時帰国

開拓団の一員として渡満し、終戦後の混乱により一家が離散、中国の吉林省で小学校の教師をしている飯詰出身の木村和子さん(三五)がさる九月二十九日、三十年ぶりに一時帰国し長兄と涙の対面をしました。

木村さん一家は、昭和十五年四月、旧飯詰村で編成した開拓団の一員として旧満州国に渡り間島省理春県で開拓に従事、和子さんは翌年四月八日兄妹の四女に生まれました。

メダル十二個獲得

第十五回全国身障者スポーツ大会のリハール大会「県身体障害者スポーツ大会」は、さる九月二十六日県総合運動場陸上競技場で行なわれ、市から参加した次の選手があわせて金、銀、銅メダル十二個を獲得しました。

▽平山新三郎(砲丸投、百斤) 金二個▽鶴谷芳雄(卓球、ソフトボール投) 金、銀各一個▽宮崎浩(三段跳、砲石投) 銀、銅各一個▽新谷金蔵(四百斤) 銀一個▽川村節美(百斤砲丸投) 銅二個▽葛西義美(百斤、槍投) 金、銀各一個▽村田正光(砲丸投、百斤) 金一個。

交通安全の教材を備える

交通安全教育は、幼児期から、と県ではこのほど、交通安全教育の教材二組み「写真」を市に贈りました。この教材は、交通安全の紙芝居(舞台付き)とエルモスライド(WSSI)の各一式で、幼児や学童向けに製作されたものです。市では、常時市交通防災



対策室に備え、保育所や幼稚園での交通安全教育に貸し出すことにしています。すのでご利用下さい。

統計思想普及の一環として発行を続けて参りました県民手帳を今年も十一月下旬ごろ頒布することになりました。

青森国体に関することも詳しく記載されておりますので、中学校、高校、学生用としてもご利用いただけ

と参ります。なお、追加申し込みも受付けております。

市商工観光課(内線二二九番)

▽価格 二百二十円装幀極上ビニール、クロス表紙貼布式(別冊おぼえ帳付)

郵便貯金で住みよい社会を

◎郵便貯金はこんなに役立つ◎

みなさんに親しまれてきた郵便貯金は明治八年創業以来、ことしで百一年目を迎えますが、つねにみなさまの生活と結びついて広くご利用いただきその貯金、高は全国で二十七兆円にも達しており、東北六県でも一兆六千八百億円となっています。

この巨額の郵便貯金は国

の財政投融资資金として、私たちの豊かな暮らしと住みよい社会、町づくりのため、身近かなところで大きな役割を果しています。

わたしたちの五所川原市でも本年三月末現在で十三億七千万円の融資を受け、住みよい町づくりに役立っています。

このように郵便貯金の果たす役割りは今後ますます強まってくるものと考え

郵政省では大蔵省、文部省、自治省等関係の協力を得て十月を「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」として全国的に実施しております。

これを機会にあなたの生活プランに、ぜひ、安全、有利な郵便貯金をご利用いただき、わたしたちの住みよい町づくりに役立てよう、なおいっそうのご協力をお願いします。

(五所川原郵便局)

広報紙の早期配布にご協力願います